平成２６年度　上島いきいき交流センター　新築工事

■ 機 械 設 備 工 事 ■

辰　　野　　町

PRINT DATE　2014年10月22日

Plot: 14 10 22

建築意匠図

A－01	図面リスト	A－12	立面図	A－23	展開図⑦	S－01	基礎伏図	S－12	木造(軸組工法)特記仕様書⑥
02	建築主体特記仕様書①	13	屋根伏図：天井伏図	24	キープラン	02	基礎詳細図	13	木造(軸組工法)特記仕様書⑦
03	建築主体特記仕様書②	14	矩計図①	25	建具表①	03	床伏図	14	木造(軸組工法)特記仕様書⑧
04	建築主体特記仕様書③	15	矩計図②	26	建具表②	04	小屋伏図		
05	建築主体特記仕様書④	16	矩計図③	27	建具表③	05	軸組計算表		
06	配置図：案内図	17	展開図①	28	家具図①	06	軸組設置計算表		
07	面積算定図	18	展開図②	29	家具図②	07	木造(軸組工法)特記仕様書①		
08	採光：換気：排煙検討表	19	展開図③	30	家具図③	08	木造(軸組工法)特記仕様書②		
09	工事概要表：面積表：外部仕上表	20	展開図④			09	木造(軸組工法)特記仕様書③		
10	内部仕上表	21	展開図⑤			10	木造(軸組工法)特記仕様書④		
11	平面図	22	展開図⑥			11	木造(軸組工法)特記仕様書⑤		

構造図

電気設備図

E－01	図面リスト	E－12	太陽光設備図			M－01	図面リスト		
02	電気設備特記仕様書①					02	機械設備特記仕様書①		
03	電気設備特記仕様書②					03	機械設備特記仕様書②		
04	分電盤図					04	給排水配置図：案内図		
05	照明器具姿図					05	機器：器具リスト		
06	幹線設備図					06	給排水平面図		
07	電灯設備図					07	雨水：暖房：ガス平面図		
08	コンセント設備図					08	換気平面図		
09	弱電設備図								
10	弱電機器図								
11	自動火災報知設備図								

機械設備図

DATE	JOB NAME		SHEET NO
2014年10月22日	平成26年度上島いきいき交流センター新築工事		M01図面ﾘｽﾄ
ADDRESS	SHEET TITLE	SCALE	FILE NO
辰野町	図面リスト	NONSCALE	

工 事 概 要

1. 工 事 名 ： 平成２６年度上島いきいき交流センター新築工事
2. 建 設 地 ： 上伊那郡辰野町大字上島２４８０番地
3. 発 注 者 ： 上伊那郡辰野町中央 1番地　辰野町長　加島範久
4. 工　　期 ： 平成　年　月　日から 平成　年　月　日まで　　４ヶ月間
5. 建物概要 ：

建 物 名 称	構 造	階 数	延床面積（㎡）	備　　考
上島いきいき交流センター	木 造	1 階	107.44	

6. 工事種目 ：　（◎ 印のついたものを適用する）

種 目 名 称	今回工事	種 目 名 称	今回工事	種 目 名 称	今回工事
空気調和設備		給 水 設 備	◎	給 油 設 備	◎
冷 暖 房 設 備		排 水 設 備	◎	エアー配管設備	
暖 房 設 備	◎	雨水排水設備	◎	消 火 設 備	
換 気 設 備	◎	給 湯 設 備	◎	昇 降 機 設 備	
排 煙 設 備		厨房機器設備	◎	既存設備撤去工事	◎
自動制御設備		ガ ス 設 備	◎		
衛生器具設備	◎	浄 化 槽 設 備			

機械設備工事特記仕様書

1. 本工事に適用する本仕様書は一般共通事項に記載されたものとする。
2. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて一般共通事項覧記載の各仕様図書による。
3. 特記仕様書の適用は下記による。
   (1) 事項、対象工事は、文頭に ● 印のついたものを適用する。
   (2) 項目は、番号に ○ 印のついたものを適用する。
   (3) 細目は、文頭に ● 印または ○ 印のついたものを適用する。

1 一般共通事項

番号　項　目	細　目・特　記　事　項
① 設計図書に関する疑義	・工事契約前においては質疑応答書をもって確認する。 ・工事途中においては、打合協議記録簿を作成して確認する。
② 図書の優先順位	・本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。 1.現場説明書（質疑応答書を含む） 2.特記仕様書 3.設計図・内訳明細書 4.公共建築工事標準仕様書　（平成 16 年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 5.同 上　機械設備工事編　（平成 19 年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 6.同 上　電気設備工事編　（平成 19 年度版）　国土交通省大臣官房庁営繕部監修 7.長野県機械設備工事施工手引（平成 19 年度版）　長野県建設部施設課 8.長野県電気設備工事施工手引（平成 19 年度版）　長野県建設部施設課 9.木造住宅標準仕様書　（平成 22 年度版）　住宅金融支援機構監修 10.標準詳細図　国土交通省大臣官房庁営繕部監修
③ 施工範囲	・本工事の範囲は特記仕様書及び設計図面に記載されている事項とする。
④ 施工責任	・本仕様書は仕様の大要を示すもので図面と対照して機能上、外観上、使用上、また保守管理において当然必要と認められる工事はもちろん、記載のない事項でも自然付帯の工事は、係員の指示に従い施工する。
⑤ 実施工程表及び施工計画書	・実施工程表及び施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。
⑥ 火災保険等	・建物（施設）引渡しまで請負者は、工事目的物・工事資材等について火災保険・建設工事保険等をかけねばならない。　また、その満了日は引渡日に１ヶ月を加えた期間とする。
⑦ 法規手続	・本工事は各市町村上水道条例、高圧ガス取締法、液化ガス保安規則、その他関連法令に従い施工する。また、工事に必要な関係官庁への手続き一切は請負者が代行して行う。 関係官庁への手続き一切は請負者にて行う。
⑧ 使用材料	・材料及び機器は別に示す指定メーカーより選定し、工事契約後すみやかに仕様リストを提出する。なお機器のうち、事業者の指定があるものはその指示に従う。 同等品に替える場合は、見本品・性能表などを呈示し監督員の承諾を受ける。
⑨ 施工図承認図	・工事施工前に施工詳細図を提出して係員の承認を受ける。機器については、構造・寸法及び仕様を記載した承認図を提出するか見本を提出し、係員の承認を受ける。
⑩ 特殊な材料工法	・共通仕様書に記載されていない特殊な材料の工法は、当該製品の指定する工法による。
⑪ 工事標識の掲示	下記の標識を、監督員の指示する位置に掲示する。 ・工事標識　・建設業許可票の写し標識　・労災保険関係成立票の写し ・工事施工体系図
⑫ 工事用用水	構内既存の施設：・利用できる（・有償 ・無償 ）　・利用できない
⑬ 工事用電力	構内既存の施設：・利用できる（・有償 ・無償 ）　・利用できない
⑭ 工事用足場	・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる ○本工事に含む（関連法令、要綱に従い適切な構造のものを架構し、保守点検に努める）
⑮ 埋戻・盛土	○根切中の良質土（但し、埋設管の周囲は山砂、川砂または再生砂・山砂の類
⑯ 残土処分	・構内敷均し　○構外搬出適切処理　・構内の指定箇所に積置き
⑰ 発生残材の処理	○構外搬出適切処理 発注者に引渡しを要するもの　・無　・有（　　） 再生資源の利用を図るもの　・無　・有（　　） 特別管理産業廃棄物　・無　・有（　　）
⑱ 保温工事	配管、ダクト、弁類は建物内外とも保温工事を行い、外装は下記による。 なお、保温端部はシーリング処理をする。

区　分	施 工 箇 所	外 装 材 の 種 類
給水管 給湯管	屋内　居間・廊下など	・カラー亜鉛鍍金鉄板 ・
	露出　機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス ・
	屋内隠ぺい	○アルミガラスクロス ・
	屋外露出、多湿箇所	○ステンレス鋼板 ・着色アスファルトプライマー
排水及び通気管	屋内　居間・廊下など	・カラー亜鉛鍍金鉄板 ・
	露出　機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス ・
	屋内隠ぺい	○アルミガラスクロス ・
	屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板 ・着色アスファルトプライマー
雨水立管	屋内露出	・カラー亜鉛鍍金鉄板 ・綿 布
冷媒管	屋内　居間・廊下など	・綿 布 ・保温化粧ケース ・
	露出　機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス ・
	屋内隠ぺい	・アルミガラスクロス ・
	屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板 ・保温化粧ケース
ダクト	屋内　居間・廊下など	・カラー亜鉛鍍金鉄板 ・
	露出　機械室、書庫、倉庫	・アルミガラスクロス ・
	屋内隠ぺい	・アルミガラスクロス ・グラスウール
	屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板 ・

・冷媒用断熱被覆銅管の保温厚さは，ガス管は 20㎜ 以上，液管は 10㎜ 以上とする。
　但し，液管呼び径 9.52㎜ 以下は，保温厚 8.0㎜ としてもよい。

⑲ 防凍保温等　屋外露出部の給水管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、ドレイン管、消火管、排水管及び弁類には、防凍保温等の対策を行う。
○保温材被覆　保温材の厚さ：管径 25㎜ 以下は 50㎜ 、管径 32㎜ 以上は 40㎜ とする。
○電熱ヒーター取付け

⑳ 防食処理（ガス管）　・土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。
埋設配管は原則として，防食処理不要の管材を使用する。

21. 地中埋設標及び埋設表示用テープ　・地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。
なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
1）給水管：・地中埋設標　・埋設用表示テープ
2）ガス管：・地中埋設標　・埋設用表示テープ
3）油　管：・地中埋設標　・埋設用表示テープ
4）消火管：・地中埋設標　・埋設用表示テープ

22. 別途工事等との取合い・協議　・別途契約の工事については、工事行程、納まりなどについて当該業者と密接に協議し、協議に当らなければならない。なお、配管・ダクト・機器据付けに伴うスリーブ、枠入れは本工事に含み、その他は「工事区分表」による。

23. 文字名札等　共通仕様書によるほか、バルブ類等は必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線を用いて取付る。

24. 取扱説明板　機器等の取扱い方法及び重要な定期点検項目等を記した取扱説明板（アクリル樹脂板製・文字彫込み程度）を設ける。　大きさ：約 ＿＿＿cm²

㉕ 総合調整　・本工事（・風量調整 ・水量調整 ・室内空気の温度測定 ・室内気流及びじんあい測定
・騒音測定 ・初期運転状態の記録 ）　・別 途

26. 定期報告　工事竣工後３ヶ月、12ヶ月に点検を実施し、その結果を書面にて提出する。
上記点検においては、管理者の立ち会いの元で行うこととする。

27. 耐震措置　耐震措置の計算及び施工方法は，建設大臣官房官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成８年版）」による。
1）設計用水平地震力　機器の重量［kgf］に設計用水平震度を乗じたものとする。
なお，特記なき場合，設計用水平震度は，次による。（ 地域係数 ＝１）

局部震度法による建築設備機器の設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上・塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中　間　階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
地階及び１階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

注１）（　）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。

2）設計用鉛直地震力　設計用水平地震力の 1／2 とし，水平地震力と同時に働くものとする。
3）施　工　機器，水槽，配管，電線等の施工については，大地震時においてその機能を確保するため，地震力及びそれによる変位・揺れを考慮すること。
施工方法等については，国土交通省国土技術政策総合研究所監修「建築設備耐震設計・施工指針（2005年版）」による。
4）その他　必要な機器及び支持材等の耐震計算書等を提出し，監督員の確認を得ること。

㉘ 床下の吊り金物　○合成樹脂被覆寸切りボルト ・ステンレス鋼
㉙ 天井の吊り金物　○電気亜鉛めっき鋼 ・ステンレス鋼 ・合成樹脂被覆寸切りボルト
㉚ 接合材　○防食用ペーストシール剤（ネジ切り接合部） ○テープシール剤
㉛ スリーブ　スリーブに用いる材料で水密を要しない部分の壁，床版及び，梁貫通スリーブの径200Φ以下のものは監督員と協議のうえ紙製などの仮枠を使用することができるが、配管工事前に必ず撤去する。

32. 防火区画貫通部の処理方法　ドレン配管及びダクト類は，RW保温又は保温なしモルタル処理とし，その他の配管はRW保温とする。

㉝ 工事の引渡し　本工事の完成後は、圧力試験その他関係試験をするとともに関係官庁機関の試験に合格したのち引渡しとする。

㉞ 工事保証・その他　・建物竣工後 （ 2 ）年間
本工事においては、工事完成引渡し後でも工事の不完全及び納入機器や部品の欠陥に原因のある故障は１ヵ年保証し、無償で修理又は取替えを行う。
なお、いわゆる"瑕疵"によるものは、保証期間後においても誠意を持って対処すること。

㉟ 工事記録・完成図等　監督員の指示により、下記のものを提出する。
書類は、Ａ４版２穴バインダーファイルへ一括綴りとし、表題・背文字を記入する。
○施工計画、検査に関するもの：　（ 2 ）部
○施工図データ ○工事写真、竣工写真 ○工事日誌 ○工事打合せ記録簿
○配管、機器類の耐圧漏洩試験表 ○監督員の指示したもの
○完成写真（改修工事の時は、着手前と完成写真を左右に入れたもの）：　（ 2 ）部
撮影箇所：・外 部（ ＿＿ ）箇所　・内 部（ ＿＿ ）箇所
○工事写真：○電子納品 ・べた焼き ○サービス判　（ 2 ）部
○工事完成図：　（ 2 ）部
○完成図ＣＡＤデータ（ＣＤ－Ｒ）・Ａ２版２ツ折り製本 ○Ａ３縮小版２ツ折り製本
○保全に関するもの：　（ 2 ）部
○機器取扱説明書 ○性能試験成績表 ○機器一覧表（製造所・型式記入）
○官公庁届出書類 ○工具、予備品 ○工事関係資料等引渡書

2 特記事項

◯ 空調設備工事
◯ 冷暖房設備工事
◉ 暖房設備工事

1. 設計温湿度　設計温度および湿度は、下表による。

	外気				屋内（調整目標値）			
	一般系統				一般系統			
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	℃	%	℃	%	２６℃	５０％	℃	%
冬季	℃	%	℃	%	２２℃	４０％	℃	%

2. ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。
3. 煙突　・別途 ・本工事（鋼板厚 ＿＿㎜、高さ ＿＿ m 以上 ）
4. 煙道　・鋼板（ ・3.2 ㎜ ・4.5 ㎜ ）・ＳＵＳ板（・0.8 ㎜ ・1.0 ㎜ ）・鋼管
・煙道径が 400㎜ を超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける
5. ダクトの区分　○低圧ダクト ・高圧１ダクト ・高圧２ダクト
6. 長方形ダクトの工法　・アングルフランジ工法 ・コーナーボルト工法（ ・共 板 ・スライド ）
・スパイラルダクト ・
7. 風量測定口　取付場所：・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト・ 外気取入れダクト
・風量調整ダンパーの上流又は下流・空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト
8. チャンバー　１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
２）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
３）外壁に面するガラリに取付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
9. 防煙ダンパー　定格入力 DC24V、0.5A 以下 ・遠隔式 ・
復帰動作：・順送り ・同 時
10. 配管材料　・冷温水管 ：・配管用炭素鋼鋼管（白） ・
・冷却水管 ：・配管用炭素鋼鋼管（白） ・
・蒸気管（給気管） ：・配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
・蒸気管（環水管） ：・圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）・配管用炭素鋼鋼管（黒）
・油管、油用通気管 ：・配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
・膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管：・配管用炭素鋼鋼管（白）
・空調用排水管 ：・配管用炭素鋼鋼管（白） ・
○冷媒管 ：○断熱材被覆銅管（製造者標準品） ・銅 管
11. 温度計　配管用はＬ形、ダクト用は円形とし、下記の箇所に取付ける。
・共通仕様書，標準図による他，図示した箇所
・空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト
・冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管
・パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
12. 瞬間流量計　ピート管方式による水止コック付きとし、形式及び取付部は下記による。
なお、脱着形の指示部は（ ・４０Ａ用 個・１００Ａ用 個 ・２５０Ａ用 個 ）
・冷凍機の冷水管出口側及び冷却水管出口側 ---------- ・固定形 ・脱着形
・直焚き吸収冷温水管出口側及び冷却水管出口側 ------- ・固定形 ・脱着形
・冷温水ヘッダーの（ ・各送り管 ・各返り管 ）----- ・固定形 ・脱着形
・空気調和機の冷温水管入口または出口側 ---------- ・固定形 ・脱着形
13. オイルタンク　遠隔油用指示計：・取付ける ・取付けない
・計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，100ﾘｯﾄﾙ実測目盛刻印とする
・計量口は錠付とする
14. 消音内貼り　内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。
施工範囲：・図示の範囲 ・
15. 保温工事　一般事項による保温工事の他に、下記の施工を行う。
外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温：
・必 要（全熱交換器の給気ダクトを含む） ・不 要
・排気ダクトの外壁開放部より１m程度の範囲（チャンバーボックスを含む）
・高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚： ４０ ㎜
16. 空調用ボイラー　種 類：・鋳鉄製ボイラー ・水管式ボイラー ・炉筒煙管式ボイラー ・小型貫流ボイラー
・真空式温水発生機（ 回路）・無圧式温水発生機（ 回路）・電気ボイラー
発生熱媒：・高圧蒸気 ＿＿kg/cm² ・低圧蒸気 ＿＿kg/cm²
・高温水 ＿＿℃ ・普通温水 ＿＿℃

	DATE 2014年10月22日	JOB NAME 平成26年度上島いきいき交流センター新築工事	SHEET NO M02特記①
	ADDRESS 辰野町	SHEET TITLE 機械設備特記仕様書① SCALE NONSCALE	FILE NO

Plot: 14 10 22

	燃焼機バーナー：・ロータリー　・ガンタイプ　・噴霧　・ガスバーナー 燃焼機燃源：・重　油（　・特Ａ　・Ａ　・Ｂ　）・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ ・電　気（３相２００Ｖ） 水処理装置：・硬水軟化装置（イオン交換）・薬注装置　・純水装置 発生熱媒：・高圧蒸気＿＿＿kg/cm²　・低圧蒸気＿＿＿kg/cm² ・高温水＿＿＿℃　・普通温水＿＿＿℃ 燃焼機バーナー：・ロータリー　・ガンタイプ　・噴霧　・ガスバーナー 燃焼機燃源：・重　油（　・特Ａ　・Ａ　・Ｂ　）・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ ・電　気（３相２００Ｖ） 水処理装置：・硬水軟化装置（イオン交換）・薬注装置　・純水装置
17. 冷凍機設備	形　式：・ターボ型・レシプロ型　・スクリュー型　・吸収式（　・一重　・二重　） ・冷温水発生機　・ヒートポンプ式 燃　源：・電　気（　　）・蒸　気（　　）・高温水　℃ ・重　油（　・特Ａ　・Ａ　・Ｂ　）・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ
18. 温風暖房機	形　式：・送風機内蔵　・送風機別置　・直吹形・ダクト式・高温風・普及型温風 燃　源：・Ａ重油　・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ 運転方式：・手元運転　・遠方運転 制御盤：・遠方発停用端子・運転状態表示用接点及び端子　・故障状態表示用接点及び端子
⑲ＦＦ式暖房機	燃　源：(・)灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ 運転方式：・個別方式　・集中管理運転
20. パッケージ空調機	形　式：・床置型　・壁掛型　・天井吊下げ型　・天井埋込型 ・熱回収装置組込型 燃　源：・電　気（単相２００Ｖ）　・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ
21. 放熱器	形　式：・鋳鉄製ラジエーター　・コンベクター　・ファンコンベクター　・ベースボード (・)パネルヒーター（(・)電気　・温水（・鋼板製　・鋳鉄製　・アルミ製）） ・ファンコイルユニット（　・２パイプ・４パイプ）・ユニットヒーター ・ヒートポンプユニット・遠赤外ヒーター（
	熱　媒：・冷温水　・冷　水　・温　水　・蒸　気　・電　気
22. 床暖房	形　式：・配管埋設型　・パネル組込型 燃　源：・灯　油　・都市ガス　・ＬＰＧ　・電　気（単相２００Ｖ）
	別途工事範囲：　・躯体組込工事　・保護コンクリート、モルタル打設工事
23. 加湿器	形　式：・スプレー方式　・蒸発方式　・気化方式 ・蒸　気　・水　・温　水
24. フィルター	形　式：・ユニット型　・巻取型（　・差圧　・タイマー　）・静電気型 ・活性炭型　・化学吸着型

◉ 換気設備工事

1. 厨房用排気ダクト	材　種：(・)亜鉛鉄板　・ステンレス鋼版（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる） 工　法：・アングルフランジ工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライド） (・)スパイラルダクト　・
2. 厨房用排気フード	材　種：・ステンレス鋼版（SUS304）　・亜鉛鉄板 その他：・フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　・フードコック
3. シーリング工事	下記の系統のダクトにはシーリング工事を行い、水抜き管を設ける。 ・厨房系統　・浴室系統　・

○ 排煙設備工事

1. ダクトの材種	・亜鉛鉄板製　・鋼板製（1.6mm以上）
2. 排煙口の形式	・可動羽根（スリット共）　・可動パネル
3. 排煙口解放装置	・可動羽根（スリット共）　・可動パネル
4. 排煙風量測定方式	建築設協定期検査業務指導書（(財)日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

○ 自動制御設備工事

1. 中央監視制御	中央監視制御装置の構成、機能は別紙による。
2. 計装工事の配線	屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。

◉ 衛生器具設備工事

1. 大便器洗浄弁	(・)不凍結節水弁付　・バキュームブレーカー　・低圧フラッシュバルブ
2. 便器洗浄用タンク	・手洗なし　(・)手洗付　・水抜装置付き
③小便器節水装置	・個別感知フラッシュバルブ方式（　・埋込　・露出）(・)押ボタン式（不凍結節水弁付）
④小便器洗浄管	(・)埋込　・露出
5. 付属水栓	・節水こま式　・固定コマ式（　・寒冷地対応形　・　）
⑥自動水栓	電源供給方式：(・)ＡＣ100Ｖ　・ＤＣ
7. 大便器耐火カバー	・設ける（ピット内を除く）　(・)設けない

◉ 給水設備工事

①給水方式	(・)直圧方式　・加圧方式　・井戸揚水方式　・加圧タンク方式
②水源	飲用水：(・)上水道　・井戸水　・簡易水道 雑用水：(・)上水道　・井戸水　・河　川　・中　水　・雨　水
3. 量水器	・親メーター（・貸与品　・買取り　）・子メーター（・買取り　・支給品　）
4. 量水器桝	・上水道事業者指定品（・貸与品　・買取り　）・標準図ＭＣ型
5. 弁類	ＪＩＳ又はＪＶ　(・)水道直結部（(・)１０Ｋ・　）・その他の部分（・５Ｋ　・　）

6. 引込納付金	・必要（　・本工事に含む　・別途工事）　・不要
⑦凍結防止処置	・水抜栓以降の屋内配管には、電気ヒーターによる処置を行う。 (・)室内露出部分については、室内に採暖装置がある以外は、ヒーターによる処置を行う。 ・屋外にあって、擁壁等の側面からの凍害の恐れのある場合は、土中に保温処置を行う。
8. 屋外配管埋設深さ	敷地内：(・)地表面－６００mm　・地表面－８００mm 道路内：・地表面－１２００mm
⑨配管の品質	屋　外：(・)水道用耐圧塩化ビニール管(HI-VP)(・)水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB) ・水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-VD)　・ステンレス鋼管 屋　内：(・)水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VB)　(・)架橋ポリエチレン管 (・)ポリブデン管（カバー付き）・ステンレス鋼管　・水道用銅管
⑩屋内の配管	さや管ヘッダー方式：　(・)行う　(・)行わない（ﾋｰﾀｰｶﾞｲﾄﾞ付き架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管）
⑪防食措置	外面樹脂ライニングの無い鋼管は、ペトロラタム防食テープ　１／２　重ね１回巻きとし、さらに防食ビニルテープを１回巻きとする。
⑫吊り及び支持	横走り配管の吊り及び揺れ止め支持間隔は、鋼管及びステンレス管は　２.０ｍ以下、ビニル管ポリエチレン管及び銅管は　１.０ｍ　以下、架橋ポリエチレン管は　０.５ｍ　以下とする。

◉ 排水設備工事

①配管の品質	屋　外：(・)硬質ポリ塩化ビニル管(VP・VU) ・下水道用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RS-VU) 屋　内：(・)硬質ポリ塩化ビニル管(VP)　・排水用耐火二層管 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管(RF-VP)
②配管の勾配	屋内は、管径 80A 以下は 1/50 以上・100A 以上は 1/100 以上とし、屋外は 1/100 以上とする。
③汚水、雑排水桝	材　料：(・)硬質塩化ビニル　・ポリプロピレン　・ＳＣ ふ　た：・鋳鉄製（　・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　・Ｔ８Ａ）(・)樹脂製 ・県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付 ・車輌の通過する箇所、歩行が頻繁となる箇所の汚水桝には、ＰＣ製または鋼製の保護枠を設け地表面に突起を造らないようにする。
④汚水の処置	(・)公共下水道へ放流（負担金：・必　要（負担金別途）(・)不　要　） ・合併浄化槽による（放流先：・河川、水路（許可申請）・トレンチ・　）

◉ 雨水排水設備工事

1. 配管の品質	(・)硬質ポリ塩化ビニル管(VP・VU)　・硬質ポリエチレン管(ダイポリン)
2. 配管の勾配	管径 80A 以下は 1/50 以上・100A 以上は 1/100 以上とする。
3. 雨水桝	材　料：・ＲＣ（ＰＣ製）・ＲＣ（現場打ち）(・)硬質塩化ビニル　・充填化粧枠付き ふ　た：・ＲＣ（ＰＣ製）・鋼製（グレーチング）・鋼板製　(・)樹脂製 ・鋳鉄製（　・ＭＨＡ　・ＭＨＢ　・Ｔ８Ａ　・格子）・
4. 雨水の処置	・河川、水路（許可申請）・道路側溝（許可申請）(・)地下浸透　・

◉ 給湯設備工事

①給湯方式	・中央方式　(・)局所方式
②配管方式	(・)単管式　・複管式　・上向式　・下向式　・重力式
3. 給湯機	機　種：・温水ボイラー　・真空式温水発生機　・自然冷媒ヒートポンプ給湯機 燃　料：・重　油（　・特Ａ　・Ａ　・Ｂ）　・灯　油　・都市ガス（ ・ＬＰＧ　・電　気（単相２００Ｖ）
④湯沸器	形　式：(・)瞬間湯沸器　・貯湯湯沸器 燃　料：・灯　油　(・)ＬＰＧ　・都市ガス　・電　気（単相２００Ｖ）
5. 循環ポンプ	形　式：・渦巻きポンプ　・ラインポンプ 材　質：・全砲金製　・全ステンレス製　・ねずみ鋳鉄
⑥配管の品質	(・)耐熱性硬質塩ビライニング鋼管(HTVP)　・ポリブデン管　・架橋ポリエチレン管 ・給湯用銅管（ｻｰﾓｲﾝﾁｭｰﾌﾞ）
⑦配管の勾配	配管は、水抜きバルブに向けて滞留無きよう勾配を付けて配管する。

○ 消火設備工事

1. 消火方式	・屋内消火栓（・１号　・２号）・スプリンクラー消火　・炭酸ガス消火・ドレンチャー消火 ・補助散水栓（２号消火栓）・ハロゲン化物消火　・泡消火　・粉末消火　・不活性ガス消火 ・フード消火　・ダクト消火　・屋外消火栓　・連結送水口　・連結散水消火　・消防用水 ・動力消火ポンプ　・消火器　・自動消火装置
2. ポンプ類	・屋内消火栓ポンプ　・スプリンクラーポンプ　・屋外消火栓ポンプ ・非常電源（　・発電機　・蓄電池　・エンジン　・非常電源専用受電　）
3. 消火栓箱	・屋内１号消火栓箱　・屋内２号消火栓箱 ・消火器箱併設型屋内消火栓箱　・易操作性１号消火栓箱
4. 消火器	・消火器格納箱（・壁埋込型　・壁掛露出型　・半埋込型　） ・取付工事（　・含む　・含まない　・建築工事　）
5. 配管の品質	一　般：　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓch40） 地中埋設部：・外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）　・外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＰＳ） ・外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－370ＶＳ）　・外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－370ＰＳ） 二酸化炭素用：・圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓch80）
6. 消火栓開閉弁	・ＪＩＳ 10Ｋ　・ＪＩＳ 20Ｋ

◉ 厨房機器設備工事

1. 機器の寸法	図面に記載された寸法は、その概略を示し、製造所による差違はこれを問わない。
2. 燃焼機器	使用ガス：　・都市ガス　(・)液化石油ガス

◉ ガス設備工事

①配管材料	一　般：(・)配管用炭素鋼鋼管（白）　・圧力配管用炭素鋼鋼管　・鋼管 埋　設：・ポリエチレン被覆鋼管　・圧力配管用炭素鋼鋼管・塩化ビニル被覆鋼管 ・ガス用ポリエチレン管
2. 都市ガス	ガスメーター：・親メーター(ガス事業者の支給品)　・子メーター 引込み負担金：・不　要　・必　要（　・別途工事　・本工事　）
③液化石油ガス	ガスボンベ：　(・)借　用　・買取り（　・　10 kg・　20 kg・　50 kg・　kg）・　＿＿＿　本 ガスメーター：(・)親メーター(ガス事業者の支給品)　子メーター 集合装置：　・バルク　・　2　本組 転倒防止等：　・ボルト、チェーン（SUS製）　・図　示
④ガス漏れ警報器	・分離形　・一体形　(・)別　途
5. 埋設深さ	・一般敷地内　０．５０ｍ以上　・敷地内車両道路　１．２０ｍ以上

○ 浄化槽設備工事

1. 手続き等	官公署への手続きまたは手続変更届けは、契約後 30 日以内に請負者が代行して行う。
2. 測定表	放流水の水質について測定表を提出する。
3. 処理種別	・合併処理方式　・小規模合併処理
4. 性能	・ＢＯＤの除去率　９０　％以上，放流水のＢＯＤ　２０　mg/L以下 ・ＢＯＤの除去率　＿＿％以上，放流水のＢＯＤ＿＿＿mg/L以下
5. 処理方式	・分離接触ばっき方式　・分離ばっき方式　・嫌気濾床接触ばっき方式
6. 形式	・工場製作ユニット　・現場施工
7. 対象人員・汚水量	・処理対象人員＿＿人　・平均汚水量＿＿＿ m^3／日
8. 送風機室	仕　様：
9. 防護さく	仕　様：
10. 水質分析	定常の使用状態に入った後，流入水及び処理水について行う。
11. 浄化槽設備士	浄化槽設備士を有する会社が施工管理を行う。また，浄化槽設備士名を書面で監督員へ通知する。

○ 昇降機設備工事

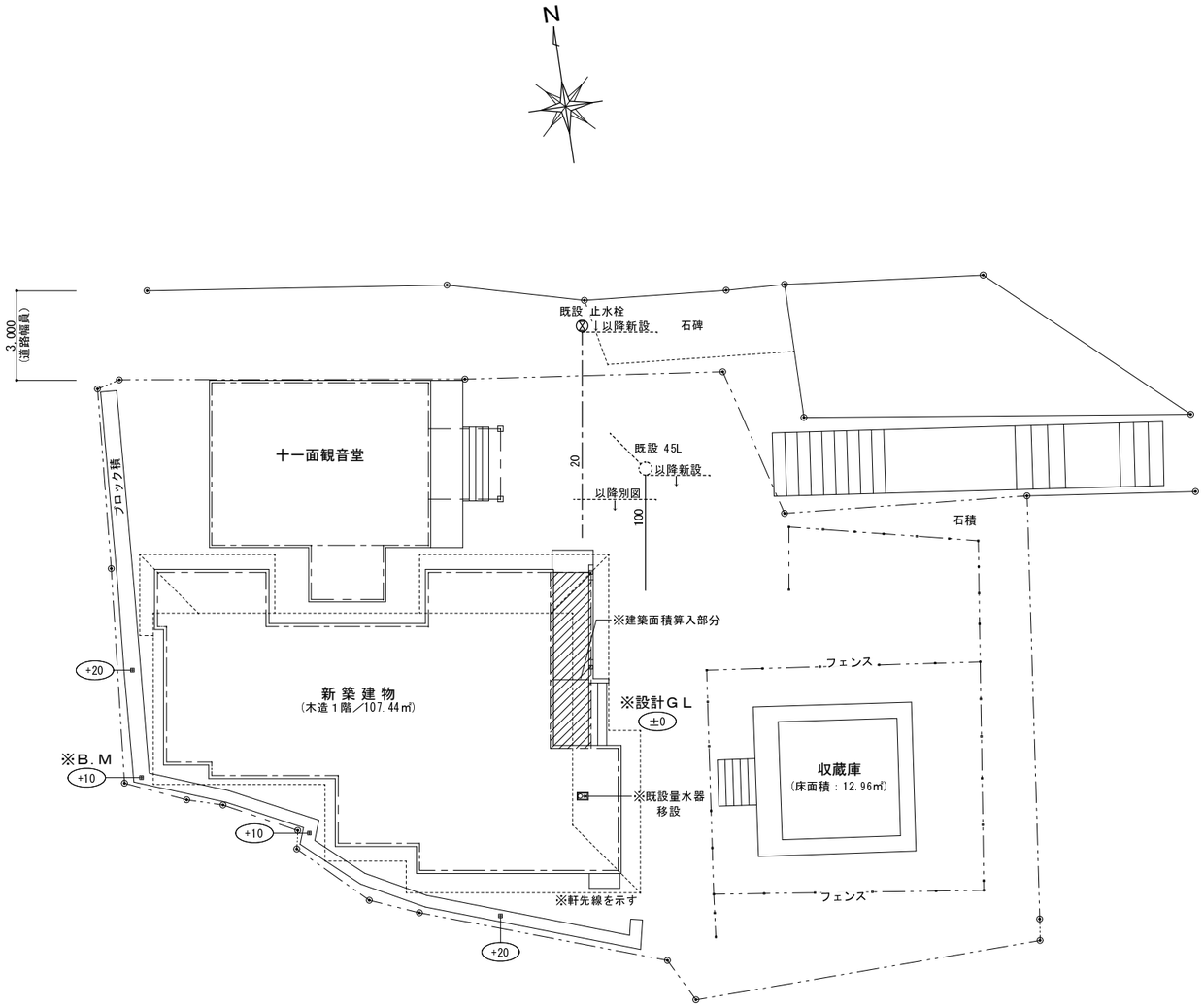
◉ 工事区分表　（◎ 印のついたものを適用する）

項目名称	建築	電気	機械		別途	備考
（1） 仮設用電力、上下水道、電話、ガス等の加入負担金	◎					
（2） 前項に懸る工事費、使用料金その他の経費	◎					
（3） 受電後引渡しまでの電力料金	◎					
（4） 構造躯体の貫通スリーブ、枠の取付け		◎	◎			
（5） 前項に懸る補強工事		◎	◎			
（6） 天井、壁等の埋込器具の穴あけ・補強工事		◎	◎			
（7） 点検口（天井、床、壁、ピット）	◎					
（8） 屋上等に設置される設備・電気機器の基礎、仕上げ						
（9） 機器等の取付けに必要なアンカー及びその補強		◎	◎			
（10） 電話機器と配線取付け工事		◎				
（11） テレビ電波障害工事及び調査に関する費用		◎				
（12） エアコン用コンセント取付工事		◎				
（13） 換気扇取付工事			◎			
（14） 設備機器電源端子接続		◎				

Plot: 14 10 22

	DATE 2014年10月22日	JOB NAME 平成26年度上島いきいき交流センター新築工事	SHEET NO M03特記②
	ADDRESS 辰野町	SHEET TITLE 機械設備特記仕様書②	SCALE NONSCALE　FILE NO

Plot: 14 10 22



配　置　図　S=1/200

案　内　図

		DATE 2014年10月22日	JOB NAME 平成26年度上島いきいき交流センター新築工事	SHEET NO M04配置案内
		ADDRESS 辰野町	SHEET TITLE 給排水配置図：案内図 SCALE 1／200	FILE NO

Plot: 14 10 22

凡　例

記　号	配管名	仕　様	備考
――－－――	給水管（埋設・引込）	耐衝撃性硬質塩化ビニル管ＨＩＶＰ	
――－－――	給水管（屋内）	架橋ポリエチレン管　　給水用	
――|――	給湯管　（給湯器以降）	給湯用塩化ビニルライニング鋼管ＨＶＡ	
――――――	排水管（屋内）	硬質塩化ビニル管ＶＰ（ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒20ｾｷｷｬﾝﾊﾞｽ巻）	
――――――	排水管（埋設）	硬質塩化ビニル管ＶＵ	
･･･････････	通気管	硬質塩化ビニル管ＶＰ	
――――――	雨水管	硬質塩化ビニル管ＶＵ	
――Ｒ――	冷媒管	冷媒用被覆銅管Ｍタイプ	
――Ｏ――	オイル管	配管用炭素鋼鋼管	
――Ｇ――	ガス管	配管用炭素鋼鋼管	
――ＯＡ――	換気ダクト（給気）	スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	
――ＥＡ――	換気ダクト（排気）	スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	
――Ｄ――	ドレイン管	硬質塩化ビニル管ＶＰ	
◯	排水桝	塩ビ小口径桝	
⊗	雨水桝	塩ビ製雨水桝	

衛生器具表

名　称	仕　様　（参考型番）	数　量	備　考
洋風大便器	CES9876 ／ GBC-S12ST+DV-S526T	1	多目的トイレ
棚付2連紙巻器	YH600FM ／ CF-AA64KUT	1	
L型手摺	YHB601LA ／ KF-M20L	1	
可動式手摺	T112HK7+T110D25 ／ KF-471EH70+KF-D19	1	
スリムタイプ手洗	ULD11R2NXAN2NNNB ／ GL-DA82SCAB	1	
プッシュボタン小便器	UFJ300CVFR ／ U-321RM+UF-3JH+UF-300WP	2	男子トイレ
小便器用手摺	T112CU2+T110D15 ／ KF-701AE+KF-D16	1	
スリムタイプ手洗	ULD11R2NXAN2NNNB ／ GL-DA82SCAB	1	
洋風大便器	CES9876 ／ GBC-S12ST+DV-S526T	1	女子トイレ
棚付2連紙巻器	YH600FM ／ CF-AA64KUT	1	
L型手摺	YHB601LA ／ KF-M20L	1	
スリムタイプ手洗	ULD11R2NXAN2NNNB ／ GL-DA82SCAB	1	
ﾏｰﾌﾞﾗｲﾄｶｳﾝﾀｰ	MC35L1100ｱPA12QY＋TLC11AR+T7W34+TLC4BF+M9P28A ／ MB-351AL+L-14+LF-E01+LF-3S-380+LF-30SA+MBF-608+KF-4560	1	ホール
化粧鏡	YM4560A　450×600 ／ KF-4560	1	
実習台　IHコンロ付き	BH-W　MIH-K2H2HC　　1800×900×800 ／ タニコーECT仕様　TIH-2.5NN	1	調理室
コンロ台	BWG　900×600×650　／ TX-GT-90　900×600×650	1	
作業台	BW-066 600×600×800 ／ TX-WT-60　600×600×800	1	
一層シンク	BS1-156 1500×600×800　／ タニコー一層シンク	1	
壁付ｹﾅｼﾝｸﾞﾙ水栓	TKGG３０EZ　　／ SF-HB435SYN	2	
作業台	BW　495×600×800　／ タニコー作業台	1	
卓上ｶﾞｽﾃｰﾌﾞﾙ　2口	RT-650-2FTS　／ NLC2223Q3DG-L	1	
レンジフード	V-754K7　／ FY-7HTC4-S+FY-MH756D-S+FY-MYC56D-S	1	
丸形フード	P-18FADK5　／ FY-MCAB062	1	

衛生機器表

番号	名　称	仕　様	数量	設置場所	参考型番
	ガス給湯器	給湯専用　屋外壁掛型　２０号　ＬＰＧ仕様	1	屋外	GQ2039WS-20A/LPG ／ RUX-A2000W-E
		リモコンｘ１、専用コード、配管カバー			RC-7606M+M8A+H33-K(450) ／ MC-140V+UC-25-10+UOP-Y101

空調機器表

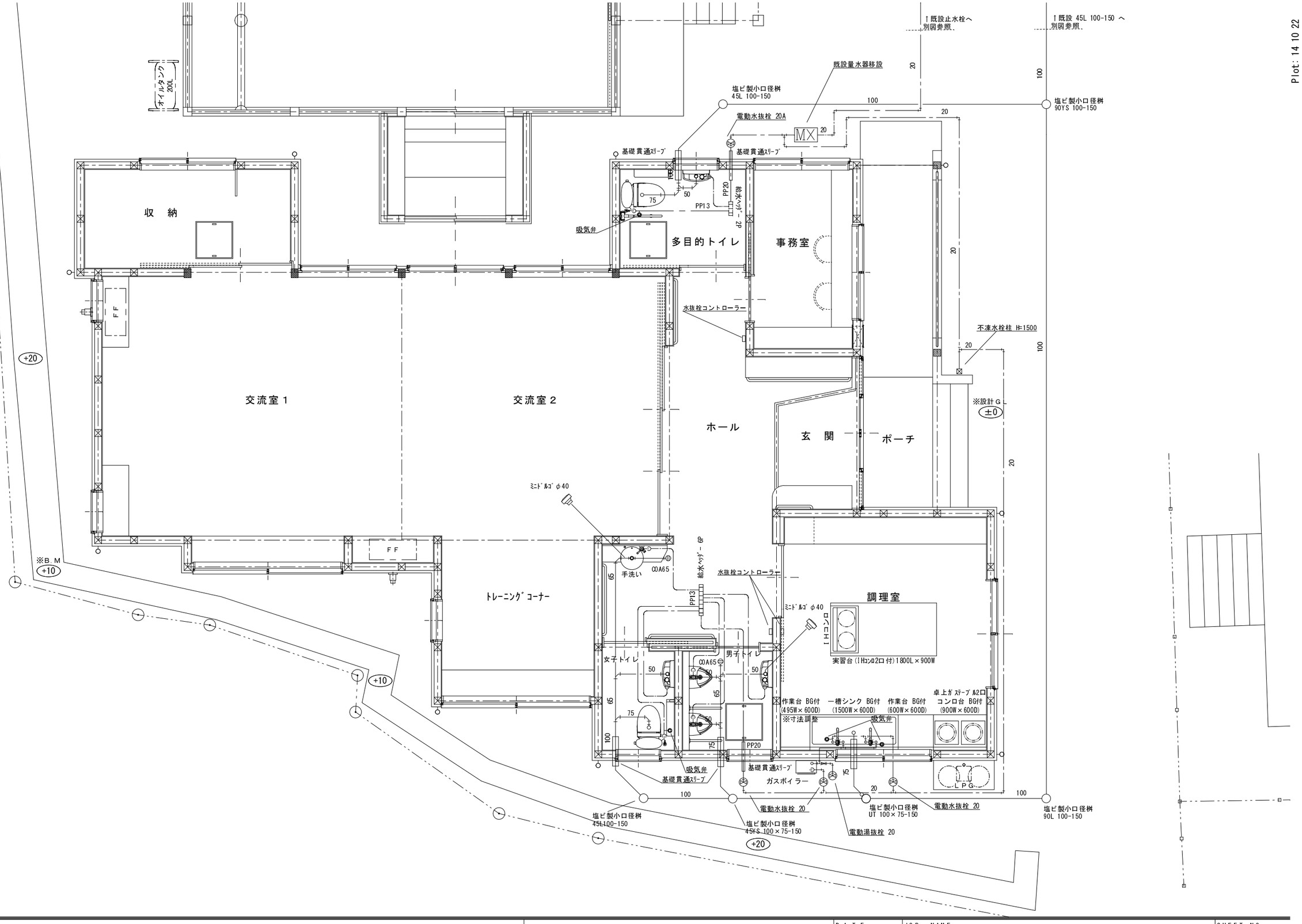
番号	名　称	仕　様	数量	設置場所	参考型番
FF1	FF式石油暖房機	ﾋﾞﾙﾄｲﾝﾀｲﾌﾟ　暖房能力　１９畳まで　吸排気筒共	1	交流室１	FF-B7414 ／ FF-7000BF
FF2		ﾋﾞﾙﾄｲﾝﾀｲﾌﾟ　暖房能力　１５畳まで　吸排気筒共	1	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｺｰﾅｰ	FF-B5814 ／ FF-5000BF

換気機器表

番号	名　称	仕　様	数量	参考型番
VF3	ﾊﾟｲﾌﾟ用ﾌｧﾝ	<24時間換気機能付>	3	V-08PLD7／ FY-08PDX7SD
OA2	自然給気ﾕﾆｯﾄ		1	P-13GLF5／ FY-GLV04
OA1			4	P-18GLF5／ FY-GLV06
	深形ﾌｰﾄﾞ		4	P-13VS3 ／ FY-MFX043
			4	P-18VS3 ／ FY-MFX063
VF2	ﾀﾞｸﾄ用換気扇	<天井埋込形> 局所換気設備	1	VD-10ZVC2／ DVF-TD14CLD
VF2			2	VD-20ZVX2-C／ DVF-D20L
	深形ﾌｰﾄﾞ		1	P-13VS3／ DV-142LY
			2	P-18VS3／ DV-202LY
	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ		3	P-04SWR2／ FY-SV11W

	DATE 2014年10月22日	JOB NAME 平成26年度上島いきいき交流センター新築工事	SHEET NO M05器具ﾘｽﾄ
	ADDRESS 辰　野　町	SHEET TITLE 機器：器具リスト　SCALE NONSCALE	FILE NO

Plot: 14 10 22



		DATE 2014年10月22日	JOB NAME 平成26年度上島いきいき交流センター新築工事	SHEET NO M06給排水平
		ADDRESS 辰野町	SHEET TITLE 給排水平面図 SCALE 1／60	FILE NO

Plot: 14 10 22

オイルタンク 200L

壁面沿せ露出配管

地中埋設

15

収　納

多目的トイレ

事務室

FF1

交流室１

交流室２

ホール

玄　関

ポーチ

※設計ＧＬ

±0

+20

※B.M

+10

FF2

手洗い

トレーニングコーナー

女子トイレ

男子トイレ

調理室

コンロH1

実習台（1Hコンロ2口付）1800L×900W

作業台 BG付 (495W×600D)

一槽シンク BG付 (1500W×600D)

作業台 BG付 (600W×600D)

卓上ガステーブル2口コンロ台 BG付 (900W×600D)

※寸法調整

G

M

LPG

雨水浸透桝

宅内雨水浸透桝設置標準図　S=free

ICG-4200 用水

VU200

発生土埋戻

塩ビ桝本体 FW KT 100-200

VU100

偏芯ソケット 100×75

vp φ75

ビニールシート

φ 180

バスケット

浸透部

玉砂利 40

※必ず転圧する事

H

H：300 基準

500

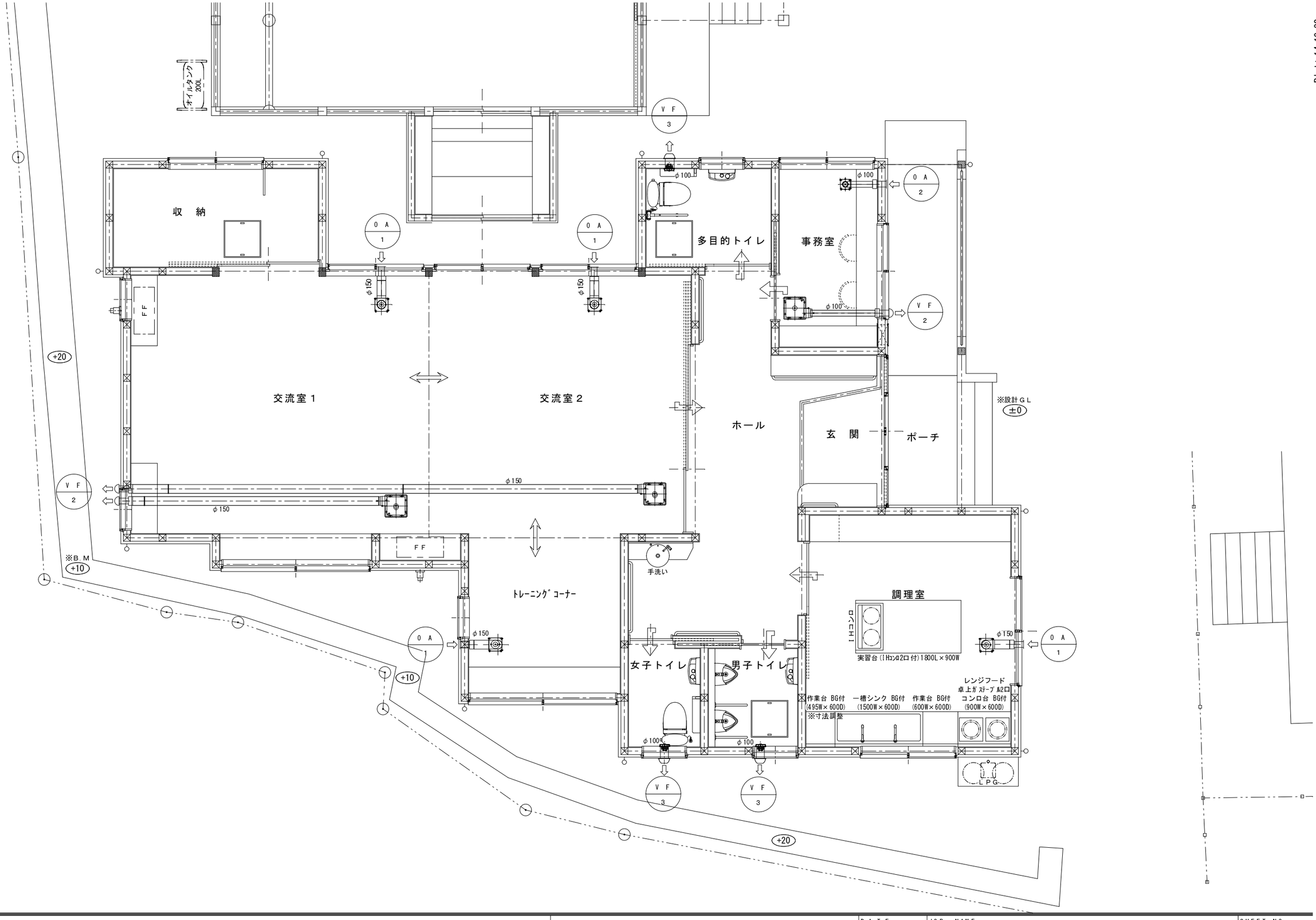
200

300

800

	DATE 2014年10月22日	JOB NAME 平成26年度上島いきいき交流センター新築工事	SHEET NO M07雨暖ガス平
	ADDRESS 辰　野　町	SHEET TITLE 雨水：暖房：ガス平面図 SCALE 1／60	FILE NO

Plot: 14 10 22



	DATE 2014年10月22日	JOB NAME 平成26年度上島いきいき交流センター新築工事	SHEET NO M08換気平
	ADDRESS 辰野町	SHEET TITLE 換気平面図 SCALE 1／60	FILE NO